

第60号

2021. 1.27発行



# ぎかい

懸かけはし橋  
だより



も  
く  
じ

- 12月定例会(議案審議等) ..... P 2
- 12月定例会(補正予算等) ..... P 3
- 臨時会、常任委員会 ..... P 4
- ここが聞きたい一般質問：6人 ..... P 5
- 議員全員協議会 ..... P12

## 「希望の朝」

～堀切川 稻荷神社～

(写真提供：小向 建二 様)



# 12月 定例会

令和2年第4回定例会は、12月3日から8日までの6日間の会期で開かれました。

町消防団条例の一部改正、町子ども医療費助成条例の一部改正、十和田地区環境整備事務組合の解散及び事務継承、令和2年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算など、議案16件が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり可決しました。

また、追加提案の議員発議では傍聴席で水又はお茶を持ち込めるよう規則を改正し、可決しました。

## 議案第65号

# 中学生までの子どもの医療費が『ずっと無料』になります。



(関連記事P3参照)

### 県事業 『乳幼児医療費給付制度』

対象年齢	0歳～小学校就学前まで
給付対象	入院・外来医療費・調剤費の自己負担2割分を給付
給付方法	窓口の2割負担なし

※但し、保護者の所得によって該当しない場合があります。

### 町単独事業 『子ども医療費助成制度』

町では、上記の県事業が該当しなかったお子さんと、小学生から中学生までの医療費を助成し、子育て支援の充実を図っています。

何が改正されたの？



町では平成23年から数年毎の期限を設け、中学生までの医療費を助成しています。

今定例会では、子育て支援策として期限を廃止し、『無期限』と改正しました。

区分	乳幼児医療費給付制度が非該当になったお子さん	乳幼児医療費給付制度で4歳～小学校就学前までの自己負担分	小学生・中学生
助成対象	入院・外来医療費・調剤費の自己負担を助成	入院 1日 500円 通院 1ヶ月 1,500円	入院・外来・調剤の自己負担を助成
助成方法	窓口の2割負担なし	窓口負担なし	窓口の3割負担なし

- 共通事項 ※ 保険適用外の費用や入院時の食事療養費は対象外です。  
 ※ 子どもの医療費の給付や助成を受けるには、事前申請が必要です。  
 ※ 県外の医療機関や整形外科は、現物給付（窓口負担なし）に対応していないため、償還払い（窓口で支払いをした後に役場で申請）の手続きが必要です。  
 ※ 0歳から小学校就学前までのお子さんは、誕生月での更新申請が必要です。

### 周辺自治体の子どもの医療費助成状況

自治体名	小学生	中学生	高校生等	所得制限の有無
八戸市	○	○	○入院のみ	有 2,342,000円
十和田市	○	○	×	有 2,342,000円
三沢市	○	○	×	無
六戸町	○	○	×	無
おいらせ町	○	○	×	無

#### 所得制限があると









この表の金額以上に所得がある方は、医療費の助成が対象外となり、窓口で2割～3割を負担することとなります。おいらせ町、六戸町、三沢市が中学生までの医療費助成が手厚いことが分かります。その中でもおいらせ町は『給食費の無料化』を実施している唯一の自治体です。



可決  
しました

# 12月の主な一般会計 補正予算

歳入歳出予算の総額に4億2,626万円を増額し、予算の総額は、138億1,542万円としました。

公共施設 エアコン等設置	定住促進助成金	障害児給付費	高齢者福祉施設 エアコン更新費用
<p>【コロナ対策事業】 北・東公民館、みなくる館、町民交流センター、老人福祉センター等に設置 新設補正額 1億672万円</p> 	<p>転入し、新築・中古住宅を購入する方への助成</p> <p>補正額 3,280万円 補正後 8,500万円</p> 	<p>1人当りの利用回数増加に伴い増額</p> <p>補正額 2,010万円 補正後 9,090万円</p> 	<p>グループホームいこいの森への施設交付金</p> <p>新設補正額 618万円</p> 
子どものための教育・ 保育給付費	高齢者インフルエンザ 予防接種委託料	主食用米価格安定対策 給付金	事業継続支援給付金
<p>保育所等への運営費給付</p> <p>補正額 1億4,705万円 補正後 13億3,422万円</p> 	<p>65歳以上の予防接種者増加見込</p> <p>補正額 800万円 補正後 1,900万円</p> 	<p>【コロナ対策事業】 主食用米の需要減少に伴い作付面積に応じ給付</p> <p>新設補正額 1,511万円</p> 	<p>【コロナ対策事業】 町内に店舗を有する小売店、サービス業等の小規模企業者への給付増加見込</p> <p>補正額 1,500万円 補正後 8,100万円</p> 

## 令和2年度 特別 会計補正予算

特別会計	補正予算額	補正後予算総額	歳入・歳出の主な内容
国民健康保険（第4号）	533万円	25億5,447万円	高額療養費
公共下水道事業（第2号）	28万円	10億4,978万円	受益者負担金の賦課額決定
介護保険（第3号）	1,870万円	23億9,909万円	システム改修費、高額介護サービス等給付費
病院事業（第4号）	257万円	11億3,228万円	非常勤医師報酬

※千円の位を四捨五入しています。

## 主な質疑



【議案第62号】 町消防団条例の一部改正（内容：条例定数を360人から320人に削減するとともに団員等の退職年齢を引き上げるもの）

問 松林義光議員 10月1日現在の条例定数で災害補償負担金が決定するのであれば、実数(300人)にしては。また、近距離にある消防団の再編を進める時期ではないか。毎年、屯所やポンプ車の更新をしている。これが再編につながらない要因ではないか。

答 条例定数より実数が超えた場合、公務災害に関わるため速やかに条例改正することになる。消防団再編は難しい課題だが丁寧にかつスピーディに進めたい。消防団幹部会議で協議していきたい。

【議案第65号】 子ども医療費助成条例の一部改正（令和2年度末までの時限規定を無期限とするもの）

（関連記事P.2参照）

問 平野敏彦議員 県内の全市町村が実施しているか。また、年間の子どもの医療費助成額はいくらか。

答 中学生までの医療費助成は県内のほとんどの自治体を実施。当町では3年間の平均で毎年約6千万円を助成している。

【議案第72号】 一般会計補正予算

問 西館芳信議員 漁業者海浜保全活動支援事業費補助金とは。

答 コロナ禍の影響により魚価の下落や休業を余儀なくされた漁業者が行う海浜清掃活動の取り組みに対して補助することで漁業者支援及び漁場保全を図るもの。

## 第2回臨時会

令和2年第2回臨時会は、10月12日の1日の会期で開かれました。  
学校のタブレット端末購入契約、令和2年度一般会計補正予算、及び病院事業会計補正予算の議案3件が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり可決しました。

## 主な質疑

〔議案第56号〕学校ICTギガスクール  
端末購入契約の締結

問 澤上勝議員 端末と保管庫の入札業者が同じである。一括入札すれば安くなると思われるが理由は。

答 当事業は国の補助金で実施するもので、端末は物品で入札し、保管庫は設備として入札する取扱いとなるため。

### ギガスクール構想

義務教育を受ける児童生徒のために学習用パソコンと高速ネットワーク環境を5年間で整備。目的は、子ども一人一人の個性に合わせた教育の実現。更に教職員業務支援システムも整備し、働き方改革にもつなげていく。

### 入札内容

契約額1億4498万円で(株)ビジネスサービス八戸支店が落札。タブレット端末2200台1台当たり6万5900円(税込)を令和3年3月10日まで配備。

〔議案第57号〕一般会計補正予算

問 澤上勝議員 八戸圏域からおいらせ病院への眼科医の派遣回数。

答 機器等を準備し、早ければ1月下旬から開始。今年度は月2回の計5回を予定。

問 田中正一議員

月2回の眼科診療のために機器購入し、収益を確保できるのか赤字続きのおいらせ病院を、これからどうするか考える時期に来ている。私は医療も大事だが、一番大事なのは下水道や生活道路だと思つた。

答 以前から要望があつた眼科診療を町長が八戸圏域の会議で要望し実現したものの眼科診療の採算は厳しいと考えるが、患者様の利便性の確保や地域医療体制を整備する必要があると考えている。

問 西館芳信議員 昔から「医は仁術」と言い、採算よりも病やケガで苦しんでいる人を助ける最高の救済事業である。医師確保が難しい中、よくやってくれた。

答 地域医療を担うには多少の赤字はやむを得なく、公立病院の役目と考える。※「医は仁術」医師は病人を治療することによって仁愛の徳を施す術である。

## 第3回臨時会

令和2年第3回臨時会は、11月30日の1日の会期で開かれました。

自動車事故に係る損害賠償額決定の専決処分、県人事委員会勧告に準じ、職員・特別職・議員の期末手当支給割合の条例の一部改正。3議案が上程され審議の結果いずれも原案のとおり可決しました。



▲地域医療を支えるおいらせ病院

### 令和2年第5回 産業民生常任委員会

令和2年10月23日開催  
委員長 西館芳信

#### 案件1. 新型コロナウイルス感染症対策の中間報告

【概要】第1弾から第3弾まで実施中。  
9/25現在、37事業の予算額は約7億8千万円。執行率は19.4%

#### 案件2. 新生児特別定額給付金(1人10万円)の対象者見直し

【概要】町独自の新生児特別定額給付金対象者を令和2年4月28日～令和3年2月1日生れを令和2年4月28日～令和3年4月1日生れまでに誕生した新生児へ期間を拡大

#### 案件3. 三沢基地からの航空機騒音対応

【概要】町民からの苦情を受け、町長等が三沢市を訪問し情報交換。町長が東北防衛局へ要望

### 令和2年第5回 総務文教常任委員会

令和2年11月5日開催  
委員長 平野敏彦

#### 案件1. 令和3年度以降の定住促進助成金交付事業

【概要】令和2年度末までの時限制度。実施状況の検証を踏まえ、時限のとおり終了する。  
【現状】アンケート結果  
助成金があつたため転入した→14.9%  
助成金がかき付けにならない→38.6%

#### 案件2. 消防団百石第4分団拠点施設建替工事報告

【概要】敷地内に青森県や奥入瀬川東部土地改良区の所有地があつたが協議及び手続きを行わずに工事完了したため、供用開始が遅れた。



▲百石第4分団の屯所



ここが聞きたい

# 一般質問

※「一般質問」は、行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。

年4回の定例会で行われます。

議員が、町の一般事務について、執行機関に対しその執行の状況及び将来の方針等について所信をただし、事実関係を明らかにすることにより、現行の政策を変更、是正させ、あるいは新規の政策を採用させるなどの目的効果があります。

※一問一答方式の場合、60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

「ぎかいだより懸橋」では、質問した議員が原稿を作成しており、スペースの都合上、質問と答弁を要約しています。

※会議録は、議会事務局（本庁舎3階）や町議会ホームページ

(<http://www.town.oirase.aomori.jp/site/gikai/>) で閲覧できます。

また、本庁舎議場で傍聴することもできます。

## よりよいまちづくりのために



ページ	議員（質問順）	主な質問項目
6	平野敏彦 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>結婚新生活支援事業の取り組みは</li> <li>定住促進助成金事業終了後の対策は</li> <li>ペーパーレス化の取り組みは</li> </ul>
7	檜山忠 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内の防災重点ため池の防災・減災対策は</li> <li>本町地区商業灯の不具合について問う</li> <li>農家の支援策は</li> <li>温暖化とコロナ禍における教育環境整備は</li> </ul>
8	澤上訓 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍における令和3年度事業は</li> </ul>
9	西館芳信 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>町の経常収支比率は</li> <li>町債残高と新庁舎建設は</li> <li>合併特例債と病院新設は</li> </ul>
10	吉村敏文 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内小中学校における不登校の現状及び対策は</li> <li>安全な通学路の対策は</li> <li>生活関連町道の整備は</li> <li>下田・甲洋小学校の児童減少対策は</li> </ul>
11	佐々木勝 議員	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりのための町民意識調査結果について問う</li> <li>本年度の除雪体制は</li> </ul>

# 甲洋・下田小学校区の児童の減少対策は



平野 敏彦 議員

## 結婚新生活支援事業の 取り組みは

**問** 国は新婚生活の家賃や敷金・礼金、引っ越し代等の新生活費用に60万円を上限に補助条件を緩和した。経済的理由で結婚を諦めることがないよう後押しする事業を町はどのように理解しているのか。

**答** 令和3年度から補助要件や金額が拡大され、夫婦共に39歳以下で世帯所得が4百万円未満の新婚世帯が対象となった。結婚に踏み切れない主な要因は結婚後の生活不安と推察されるため、結婚時の一時的な出費に対する助成では、直接的な結婚の後押しにはならないと考えている。



**問** 私は新生活を始めるために一時的な助成でも助かり、定住促進にもつながると考えている。また、三沢市では当該事業を一つの手段とし実施したのではないかと。県内の状況は。

**答** 現在、県内では、三沢市と板柳町のみで実施している。

## 一般質問

**問** 町基本構想やまち・ひと・しごと総合戦略をはじめ、町の重要課題として結婚・出産・子育てが位置づけられている。令和3年度少子化対策事業として「結婚新生活支援事業」を実施する考えはないか。

**答** 町では重要な施策の一つと認識し、

- ・ 中学生までの医療費無料化
  - ・ 学校給食費無料化
  - ・ 保育料の軽減
  - ・ 出産・子育て支援など
- 長期的な子育て支援策を講じている。

また、男女の出会いの場を提供し、町婚活実行委員会や圏域市町村において婚活事業に取り組んでいる。

しかし、当事業は補助金が結婚への後押しに直接的には結びつかないと考え、現時点では実施の考えはない。



## 定住促進助成金事業終了後の 対策は

**問** 事業継続の考えはないか。

**答** この事業は今年度末で終了させ、継続する予定はない。

**問** 甲洋・下田小学校区の児童の減少は、地域崩壊の危機と感しているが対策は。

**答** 甲洋・下田小学校区の人口推計では、他の小学校区に比べ少子高齢化が一層進行すると見込まれているため、様々な議論を重ね新たな対応策を検討していきたい。

**問** 2小学校区への児童の減少対策として、転入者に対する助成金を支給する制度の創設は。

**答** 議員全員協議会でも2小学校区だけでも実施すべきではないかとの意見があったことから、改めて助成金の有効性や財政見直し等を検討していきたい。



## ペーパーレス化の取り組みは

**問** コロナ感染拡大を契機に地方移住を検討する方が増加している。オンライン会議システムを移住相談会に活用する考えはないか。

**答** 町では7月からZOOM（ズーム）を活用した移住相談会を実施している。

**問** オンライン会議のメリットとして、

- ・ 事前準備（移動や場所の確保）の解消
- ・ 交通費、会議費等のコストの削減
- ・ 会議資料の準備等の軽減
- ・ どこからでもリアルタイムに会話が可能
- ・ 多様な働き方の実現
- ・ ペーパーレス化の推進
- ・ 資料置き忘れによる重要情報漏えいのリスクの削減

などタブレット端末の利用を含め、ペーパーレス化を進める自治体が県内でも増加しているが、町の取り組みは。

**答** WEB会議システムには資料を会議参加者で共有できる機能も盛り込んでいる。それを活用し、ペーパーレス化に慣れさせていきながら、新たな業務にも拡大させたいと考えている。



# 町内の防災重点ため池への対策は

榑山 忠 議員

## 町内の防災重点ため池の 防災・減災対策は

**問** 平成30年7月の西日本豪雨により、小規模なため池でも決壊し、甚大な被害が生じたことから国では都道府県等の協力の下、全国のため池の緊急点検を実施。その結果、当町では11カ所のため池が「防災重点ため池」として選定された。これらのため池が決壊すると、どのような災害が想定されるのか。

**答** 家屋や公共施設等の浸水や道路等の構造物の全壊または半壊、避難時の歩行困難、農地の土砂堆積や農作物への被害が想定される。

**問** ため池の全面改修は1カ所数千円から数億円の費用を要し、管理者負担となる。県は、危険度が高い所から順番に工事を進めていきたいとのことだが、町への情報提供はあったのか。

**答** 令和元年度に実施した、木内々堤、根岸堤、間木堤の調査結果が県から情報提供され、いずれのため池も改修工事が必要と情報提供された。

### 問 住民への注意喚起は。

**答** 町内全世帯に配布の「防災安全マップ」に「ため池ハザード

マップ」を掲載した。ため池が決壊した場合の浸水想定区域及び避難路や避難場所を記載し、迅速な避難行動につなげていきたい。

### 本町地区商業灯の不具合について問う

**問** 本町地区商業灯が2か月点灯しなかった。商業灯の交換に至った経緯と、交換後3年で不具合が生じた原因とその対応は。

**答** 平成28年度に国の補助金を活用した10年間のリース事業。商業灯はデザイン型街路灯のため電球のみを交換した。主な要因は電球カバーが直接風雨を受ける形状でサビや漏水によるもの。対応としては、リース事業者と協議し、関係者への説明や意見交換を踏まえたうえで、既存の商業灯を活用し、別の電球メーカーの防水性能の高い製品に交換し不具合を改善した。なお、交換工事は現行の街路灯リース契約に追加した。



▲本町地区の商業灯

## 農家の支援策は

**問** 当町のコメの作況指数は平均で100以下と聞いたが現状は。

**答** 作況指数は市町村毎に数値算定されておらず、南部・下北地域の作況指数は105である。当町のコメの収量は平年並みか若干減収している。



▲みなくる館と田園風景

**問** カメムシ被害で上級米が減少し、平均価格が下落したと聞かれますが現状は。

**答** 令和2年産まっしぐらの1等米の概算金額は前年産より800円下落。

理由は主食用米の需要が減退する中、コロナ禍で外食産業の消費が停滞したため。

今年はカメムシによる斑点米の被害が多く、1等米の収量に影響する可能性がある。

**問** コメ農家・畑作農家が減収しているが対策は。

**答** 今補正予算で主食用米価格安定対策給付金として約1510万円を計上し、1アール当たり300円を給付。コメ農家を支援し経営安定を図りたい。

**問** 国のコロナ対策の「高収益作物次期作支援交付金」のその後の国の対応は。

**答** 国の運用見直しにより、組実施者、交付額ともに大幅減少する見込み。

今回の交付金を見込み、既に機械や資材投資した生産者については救済措置する。

## 温暖化とコロナ禍における 教育環境整備は

**問** 全国のエアコン設置率は90%以上、本県は26%と聞いたが近隣の状況は。

また、当町は次年度設置か。

**答** 上十三管内では3自治体が整備済みである。町では国交付金事業活用等の協議を進め、来年度の予定では実施設計に入る。進捗状況によるが小学校からキュービクルの改修工事を着手、令和4年度に小学校、令和5年度に中学校にエアコンを整備する予定。

# “コロナ撲滅スポーツフェス”で 町民の心を一つに

澤上 訓 議員



## コロナ禍における 令和3年度事業は

**問** 令和2年度において、コロナ感染の影響から各種イベント事業等が中止となった。

11月の新聞報道では、国内の感染者数も過去最多となるなど、先行き不安な状況である。

一方、ワクチン開発も順調で、米製薬大手ファイザーでは、最終分析の予防効果が95%に達したと発表された。

以上のような現状の中で、新年度の各種イベント等、どのように考えているのか。

**答** 国や県の方針では、感染防止対策と経済社会活動の両立、新しい生活様式の推進を図るため、徹底した感染防止対策によりイベントを安全に開催していく。町としても、これらの考え方を基準とし、各事業の性質や内容に応じて判断していく。

**問** 各種イベント等の事業の中止や延期の最終判断は、主管している関係団体等が決定すると思うが、その基準や考え方等の方針を町で定めているか。

**答** 町対策本部ではイベント等の取り扱いや中止または延期す

## 一般質問

る場合の基準も定めている。3密の全てを回避できない場合、または不特定多数が参加する場合は、中止または延期の判断基準となる。

**問** もし、中止せざるを得ない状況になった時、その後の町の活力が失われるのではと懸念されるが町長の考えは。

**答** 感染拡大防止と社会経済活動の両立を図るためにも、徹底した感染防止対策のもとでイベントを安全に開催することが基本となるため感染状況を踏まえて判断する。

**問** 今後は、厚生労働省が示す新型コロナウイルス感染防止3つの基本、①身体的距離の確保②マスクの着用③手洗いや「3密（密集、密接、密閉）」を避ける等の対策を取り入れることで、各種事業を進めていく手立てになると思っています。

1歩踏み出すために、3つの感染防止対策を基本として取り入れ、事業としてやれるもの、やれないものの判断をし、前進することが必要と考えるが町長の考えは。

**答** 安全に開催していくことが基本となっており徹底した感染防止対策の下で、全ての行事、イベントは一律で中止する制限措置は考えていない。感染状況は勿論のこと、感染防止対策の徹底、3密の回避や参加者の状況等を踏まえ個別に判断し対応する。



**問** コロナ禍によって、国民の心が暗く沈んでいる状況で、令和3年度は東京オリンピック・パラリンピックが開催される。世界のアスリート達がトップ技術と精神力を発揮し、私達に感動を与え、心を一つにさせてくれると信じている。この記念すべき年に、おいらせ町において、コロナ撲滅運動の一環として、短時間（午前中で終了）で行うスポーツフェスティバルを開催し、町民の心を一つにすることを考えてみてはどうか。

**答** 現時点では、今年度できなかったイベントをしつかりと対策したうえで、安全に実施できるように取り組むことが「コ

ロナ撲滅運動」として相応しいものと考えているため、新規事業は考えていない。

**問** 具体的な提案として、子供から高齢者まで普段できない組み合わせ、例えば中学生の野球部と還暦野球チームの試合とか、小学生と高齢者のグラウンドゴルフ、体協サッカー部と中学生、ママさんバレーと中学生バレー部等々いろんな組み合わせで交流を図ることができると思うので、是非考えてほしい。

**答** 議員の質問は、各種スポーツにおいて、例年通りの活動や大会参加ができない中、町内での機会創出と交流のご提案と受け止めたが、今年できなかったことをできるよう努力していくことが最優先と考えている。







# 硬直化したとされる町の財政状況を問う

西館 芳信 議員

## 町の経常収支比率は

**問** 75%前後が適当とされる経常収支比率が2019年度は98・3%、明年度は98・2%をどう考えるか。

**答** 経常収支比率の最新数値は、令和元年度は94・4%となり、また、2年度は95・5%、3年度は97・8%を見込んでいます。県内の他町村と比べても高水準にあり、余裕のない財政運営を強いられています。また、コロナ禍でマイナス影響が予想されるため、今後も非常に厳しい財政運営が続くと認識しています。

**問** 町は非常時に備えるため財政調整基金10億円を確保したいと考えているが、その実現と経常収支比率の具体的な改善策は。

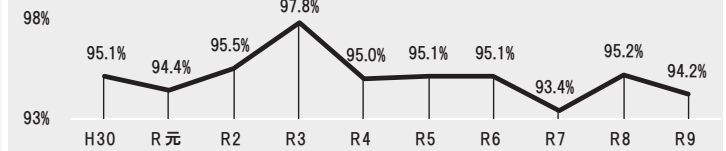
**答** 従来の財政運営を継続した場合、推計値と目標値との乖離が大きいため現在改革中である。ソフト面の取り組みでは、既存の事務事業評価を行い、廃止を含めた抜本的見直しを昨年度から実施。ハード面では公共施設統廃合の検討や、予防修繕など施設の長寿命化によるコスト削減に取り組んでいる。

## 町債残高と新庁舎建設は

**問** 本日現在の町債残高と事業別内訳の概算、向こう10年間の推移予想は。

**答** 町債残高は本日時点で96億3600万円となっている。主な内訳は、臨時財政対策債34億円、合併特例債29億1000万円。今後10年間の推移は、令和9年度末73億8900万円、令和10年度末95億7800万円、令和12年度末88億9200万円と見込んでいる。

経常収支比率の推計



財政調整基金の推計 (単位: 億円)



**問** 役場新庁舎建設を見込んだ2025年度の町債残高は再び100億円を突破するがコロナ禍の下、建設の是非について発想転換はないか。

**答** 現時点では既存庁舎活用か、新庁舎建設でも、それをどこにするかなど具体的な内容が決まっていない。

合併後14年が経過し、本庁舎は築37年、分庁舎は築45年と老朽化が進んでおり、活用には大規模修繕が避けられない。また、両庁舎とも津波及び洪水の浸水想定区域で、防災上の観点から現在の区域内に新庁舎建設は難しいと認識している。いずれにしても後年度の財政負担軽減のため、合併特例債が活用できる期限内に新庁舎建設を検討しなければならぬ。

## 合併特例債と病院新設は

**問** 当初の合併特例債の決定総額と発行済額と残高は。

**答** 発行可能額の総額は87億2320万円、うち既発行額は現時点で55億3190万円となっている。今後活用できる合併特

例債は31億9130万円が限度額である。

**問** 合併特例債の発行期限が合併後25年まで延びたことを踏まえ、病院新設について町長の所感は。

**答** 町の財政負担などに留意し、市町村合併の趣旨に沿った事業である後年度の財政負担を軽減し、持続可能な財政運営を行うため「同種施設の集約・統廃合を行う事業」に活用することが適切ではないかと考えている。

**問** コロナ禍で財政事情の多くが変わらなければならぬ。町長は合併特例債の有効活用を再考する考えはないか。また、現代社会に要請される災禍に強い新病院建設をどう考えるか。

**答** 合併特例債を地方公営企業会計である病院事業に直接活用することは難しいと考えている。しかし、昭和57年2月竣工のおいらせ病院は現行医療法の施設基準を満たさなくなったため、必要な地域医療確保につながる病院機能の整備充実が必要だと認識している。



# 子どもと保護者の “こころ”に寄り添った支援を

吉村 敏文 議員



一般質問

**町内小中学校における  
不登校の現状及び対策は**

**問** コロナ禍により、不登校の児童生徒の増加が報道され心配です。当町の現状は。

**答** 中学校では横ばい、小学校は増加傾向にある。不登校傾向が見られ指導した数は小・中学校ともに増加。要因は友人や教師との関係性や、学力、家庭等多様化している。

**問** 学校や教育委員会での取り組みは。

**答** 学校では、兆候が見られた段階から個別面談や家庭訪問等、保護者とも連絡を取り、継続的に対応している。

教育委員会では、みなくる館に2名の教育相談員を配置し、教育全般の相談業務のほか、不登校の児童生徒を直接受入れ、居場所を作り、学習の支援等を通じ学校生活に復帰できるように手助けしている。そのほか各中学校に教育相談支援員を配置しての相談活動や、県のスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用。関係者が連携し、不登校の解消に向けた取り組みを行っている。

**安全な通学路の対策は**

**問** 安全な通学路の確保及び維持方法は。

**答** 平成27年度から教育委員会、交通安全担当課、各小学校の先生や三沢警察署、国道、県道及び町道の管理者で組織する「町通学路安全推進協議会」で毎年意見交換や情報交換、各校からの要望等により対策を講じている。主なものは町有地を活用した路肩の拡幅、横断歩道部や道路路肩部のカラー舗装、注意看板の設置等がある。

また、通学路の危険箇所が発見された際は、関係課や関係機関と調整し、可能な範囲で対応している。

**問** 学校の児童生徒の交通安全の徹底指導は。

**答** 日頃から登下校時の注意や街頭指導を行い、PTAやパトロール隊、自主防犯団体等と協力して、通学路の見守りや声掛け等を実施。また、三沢警察署や交通指導隊による交通安全教室等を実施し、啓発活動や指導をしている。

**問** 今の時期、日没が早くなり児童生徒が下校時に信号のない横断歩道を渡る際、反対車線の車が止まらず危険な場面が見受けられる。横断歩道に外灯を設置し、児童生徒の安全を確保する考えは。

**答** 国、県を含め道路管理者等の関係機関と協議したい。



▲外灯がない横断歩道

**生活関連町道の整備は**

**問** 来年度の町道整備事業の予算額は。

**答** 令和2年度の町単独事業である町道整備工事費の当初予算額は4路線で5千万円。

また、補助事業の町道舗装補修事業の予算額は2路線で5856万円、起債を活用した事業は1路線で3770万円となり、合計約9600万円の予算額となっている。

来年度の町道整備工事費及び町道舗装補修工事費は、今年度と同様の事業費を見込んでいる。

**問** 町内会等の要望の優先順位の決定方法は。

**答** 要望箇所を調査し、実施可能路線、実施検討路線、実施困難路線、私道に仕分けし、実施可能路線を優先的に整備。優先順位は、交通安全対策上、危険性の高い箇所や排水不良により宅地が冠水する箇所、未舗装路線は、用地買収を伴わず流末が確保されている箇所等、地域バランスを考慮し決定している。



▲町道整備工事の様子

**下田・甲洋小学校区の  
児童減少対策は**

**問** 2校の児童減少対策は。

**答** 議員全員協議会で意見のあった下田・甲洋小学校区への新たな定住促進助成制度の創設については、改めて助成金交付の有効性や財政見通しなどの検討を行うとともに、議会とも相談したいと考えている。



# 本年度の除雪体制はいかに！

佐々木 勝 議員

まちづくりのための町民意識調査結果について問う

問 町民意識調査はいつ行ったか。

答 平成29年9月、平成31年3月、本年3月と毎年実施している。

問 下田地区、百石地区の何人に調査したか。

答 調査は、18歳以上の町民から無作為に2千人を抽出し、実施した。

アンケート調査数		2,000人	
回収計/率	882人	44.1%	
回答者			
旧下田地区	575人	65.2%	
旧百石地区	300人	34.0%	
地区不明	7人	0.8%	

問 調査はどのように生かされ、また、生かしているか。

答 当調査は、「総合計画の実施計画」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げている数値目標や重要業績評価指標(KPI)の進捗状況、達成状況を把握し、施策や事業が住民のニーズにマッチしているかを評価し、新規施策や事業の検討・修正に活用している。また、5年毎に策定している総合計画基本計画の次期基本計画策定時の分析に活用している。



## 本年度の除雪体制は

問 除雪の委託先業者は何社か。

答 今年度は24社で、除雪機械台数は51台。昨年度と比較すると、委託業者数は2社の減、除雪機械台数は3台の減となっている。

除雪委託業者数は、除雪体制に大きな影響を及ぼすが、オペレーターの高齢化や減少、除雪機械の維持管理費等の経済的要因もあり、委託業者からは、今後の除雪委託を受託できるか分からないと伺っている。今後除雪体制維持のため、業者数の確保に努めていきたい。

問 業者別地域は。

答 委託業者の除雪範囲は、地域毎ではなく、路線毎に割り当てを決定している。

- ・業者が出動するまでに時間を要しないこと。
- ・明朝までに除雪可能な道路延長であること。
- ・除雪機種による除雪可能な道路の幅であること。
- ・障害物などの道路状況を熟知していること。

などを踏まえ、路線毎に割り当てている。



▲北部地区の再除雪の様子

問 担当者はいつ積雪を確認し、出動要請するのか。

答 除雪出動の判断基準は、概ね10cm以上の積雪を基準とし、これに雪質や翌日の天候などを考慮し、状況に応じた対応を

行っている。夜間から翌朝までに10cm以上の積雪が見込まれる場合は、17時を目途に降雪予報等の情報収集及び現地観測を行い、そのうえで除雪が必要な場合は、18時までに業者へ出動要請を行っている。また、その時点で出動の判断が難しい場合は、降雪の状況等を確認し対応している。

なお、町内一斉の除雪作業を業者へ依頼した場合、1回当たり約900万円の経費がかかることから、出動要請は、慎重に対応するよう担当課へ指示をしている。

委託業者の減少により、幹線やバス路線を優先とし、これ以外の路線は住民の皆様にも我慢していただく場面もあるが、ご理解を頂きながら、効率的・効果的な除雪に努めていきたい。



▲昨年の洋光台団地除雪後の道路状況



# 第5回議員全員協議会

11月19日（木）に開催され、9件について協議しました。  
今回は3件をピックアップして掲載します。

## ◆新町建設計画の一部変更

【趣旨】新町建設計画は、市町村の合併の特例に関する法律（以下「合併特例法」）により、合併前に策定する計画で、新町の将来ビジョンや施策の方向性を定めており、合併補助金や合併特例債など国からの財政支援を受けるために、この計画に施策や事業を位置づける必要がある。

町において合併前に平成18年度から10年間の計画を策定していたが、合併特例法の改正により、合併特例債の発行期限が令和12年までの最大25年間に延長された。

これを受け、町も期間延長し、今後も継続して町の一体性を確立していく。さらに地域全体の均衡ある発展と住民の福祉向上を図っていく。

### 【基本方針】

今回の変更は計画期間を令和12年度までの25年間で延長することが主のため、その他の変更は必要最小限にとどめている。



## ◆町税等のコンビニ収納

令和3年度から納税義務者の利便性の向上と期限内の納付率の向上を目指す。

【対象税目】町民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料

### 【新たな納付追加場所】

・全国のコンビニ各店舗（セブンイレブン・ファミリマート・ローソン等）、  
・ゆうちょ銀行

・公共料金収納の端末の設置済店（ハッピードラッグ青葉店、ユニバースや青森県民生協等）

### 【コンビニで使えない納付書】

- ・バーコードがないもの
- ・汚損、破損によりバーコードが読み取れないもの
- ・金額を訂正したもの
- ・納期限を過ぎたもの
- ・納付書1枚で30万円以上を超えるもの

### 【年間の追加経費見込額】

・約140万円

※コンビニ等への手数料は町が負担。1件につき56円（税別）

なお、役場や金融機関での窓口納付や口座振替は、今まで通り可能です。

## ◆町子ども家庭総合支援拠点を設置

【概要】児童福祉法では、市町村は子どもとその家庭及び妊婦等を対象に実情を把握し、子ども等に関する相談全般から通所・在宅支援を中心とした、より専門的な相談対応や必要な調査・訪問等による継続的なソーシャルワーク業務までを行う拠点の整備に努めなければならないと規定されたため設置する。

【背景】これまでの虐待事件を受け、市町村には発生後の対応及び防止・早期発見・重篤化の抑止の取り組み強化が求められている。

【現状・対策】おいらせ町でも、児童家庭相談件数は年々増加傾向であり、中でも虐待の相談が増加している。更に児童相談所へ送致するケースも発生している。

未来ある子ども達を虐待等から未然に防止するため、必要な支援員を配置し、対応する。

### 【今後のスケジュール】

令和3年度 開設準備

令和4年度 拠点事業開始



## 第1回定例会のお知らせ

令和3年3月4日（木）午前10時から

おいらせ町議会では、

みなさんの傍聴をお待ちしています。傍聴の際はマスクの着用をお願いします。

- 問い合わせ 議会事務局（本庁舎3階）
- 電話 0178 (56) 2112

### 人事案件

人権擁護委員の候補者を決定



西館あい子氏（藤ヶ森）

### 【諮問第2号】

任期満了に伴い引き続き、西館あい子氏を委員候補者とする事について適任としました。

議会議員 総務大臣感謝状を受賞



地方自治の発展に顕著な功

労が認められ、松林義光議員が表彰されました。

おめでとうございます。



## 編集後記

世界中を震撼させている新型コロナウイルス。入学式、卒業式他、各種イベントも次々と中止や縮小となり、「三密」は流行語大賞に。今や手洗いマスク着用は必須である。

ある日、スーパーのトイレで子ども用の一段低い手洗場で、4・5歳の女の子が泡だらけにした手を指1本1本コロコロと洗い、次に指の間をコシコシと洗っていた。「エライね、気持ちいいね」と言ったら元気な声で「うん！」とマスクの笑顔。

今年のヒット商品は、コロナウイルス対策必需品の「マスク」であろう。ウイルスをつつさないことも大切。私たち町民が心ひとつにして、この困難を乗り越えたいものです。

広報委員長 日野口和子

